

アワプラジオ通信【2015年10月号】

インタビューシリーズ

ボランティアだけど何か質問ある??

ちよだボランティアセンター 夏休み体験ボランティアスタッフ
中学2年生 及川万里奈さん・橋本結衣さんに聞く



東京・千代田区にあるちよだボランティアセンターが主催する『夏休み体験ボランティア』には、毎年多くの中学生や高校生が応募して、区内のNPOや福祉施設などでボランティア活動を行っています。

今回はその夏休み体験ボランティアを通じて、番組『東京ラブレター』の出演・収録ボランティアに参加してくれた中学生のお二人にお話をうかがい、番組の進行まで丸投げ(!)してしまいました。9月にオンエアされた番組の模様を活字にまとめましたのでお読みください。

(左が及川さん、中央が橋本さん)

■ちよだボランティアセンターのウェブサイト

<http://www.chiyoda-vc.com/>

——他にもいろいろなボランティアがあったと思いますが、なぜこの活動を選んでくれたのですか。

橋本さん：ボランティアというとゴミ拾いや募金活動のようなイメージがあったのですが、ラジオの収録というのは変わっていておもしろそうだったので、参加してみようと思いました。

以前に(学校で)放送委員会に入ろうと思ったこともあったのですが、放送室で先輩と一緒に給食を

食べないといけなかったのでやめました(笑)。

及川さん：私も以前に老人ホームでのボランティアを少しだけしたことがあります。ラジオの収録というのはめずらしいなと思って。もちろんやったこともないので、やってみよう!と思いました。

——学校では部活などもやっていますか。

及川さん：私は体操部に所属していて、マット運動やたまに踊ったりもしています。大会などはなく文化祭(で披露すること)がメインですね。

橋本さん：私は書道部に入っています。最初は家庭科部だったのですが、料理をやりたくて入ったのに手芸ばかりで……。まあ料理と言っても食べる方が好きなんですけどね(笑)。

書道部は上下関係がなくのびのびできるところが気に入っていますが、期限に間に合わないと周りに迷惑をかけてしまうので、自分自身で計画的に取り組まなくてはという良い緊張感もあります。文化祭の展示で賞を取ることが目標ですが、今は部活を変ったばかりなので後輩との接し方等が課題ですね。

——将来の夢は何かありますか。

橋本さん：外国人と結婚して外国に住むのが夢です。できればカナダやイギリスがいいです。そしてかわいい子どもを産みたいです。前にお母さんに、どうしたらかわいい子どもができるのか聞いてみたんです。そしたら、外国人と結婚すれば絶対にかわいくなると言われて。足も長くなるし(笑)。なので、がんばって英語を勉強して外国人と結婚します!

及川さん：結婚したいね!!(ナビゲーターの高木祥衣さんが「二人とも(同じ夢)?!」と驚く)。

ここからは及川さんと橋本さんの二人だけで進行をお願いします。

及川さん：東京は神保町から首都圏で活動する NPO や NGO、市民グループや個人の方を紹介する東京ラブレター。今回は特別篇『ボランティアだけ何か質問ある??』ということで、中学二年生の及川万里奈と……

橋本さん：同じく中学二年生の橋本結衣でお送りします。最近悲しいことがたくさんあったんですよ。

及川さん：何があったんですか？

橋本さん：一つは『ラブライブ!』というアニメが大好きで録画していたのですが、消しちゃって……。テレビの前で1時間くらい泣いていました。及川さんは何かありますか。

及川さん：私は蚊に刺されないのが悩みです。

橋本さん：汗をかくと刺されるらしいですよ。

及川さん：けっこう汗かいてるんですけどね。インドア派であまり外に出ないからですかね。

橋本さん：私もインドア派です(笑)。あと二つめの悲しいことが、昨日 LINE で友達とケンカをしてしまいました。1週間後に会うのに、どうしよう……。及川さんは逆にうれしかったことってありますか。

及川さん：うれしいことは……。本当はない!

橋本さん：ないの(笑)！？ 私は最近ではないけれど、成績が良かったことがうれしかったです。

及川さん：まだ親に(成績表を)渡してないです。

橋本さん：本当にそういう人いるんだね(笑)。親も何も言わないの？

及川さん：なんか忘れちゃってるみたい。気付いてないんだよね。

橋本さん：それではここで、みなさまから頂いたお悩みを紹介したいと思います。11歳の女性の方からです。

「いま妹と部屋が一緒なのですが、一人部屋がほしいです。住んでいるアパートが狭いので引っ越しして欲しいのですが、親はダメと言います。こんな私は贅沢ですか？」というお悩みです。

及川さん：私は兄弟(姉妹)がいないので、一緒の部屋は逆にうらやましいです。

橋本さん：私も11歳のときは受験勉強で忙しくむしろ1人にされたので、兄弟(姉妹)と一緒にいいですね。でも周りでも一人部屋欲しいっていう子は結構多いので、贅沢ではなく普通の感情だと思います。

私も家が狭いから引っ越ししたいって親に言ったことがありますし。私が住んでいるところはド田舎なので、都会に引っ越ししたいって言いました(笑)。

及川さん：田舎いいじゃん!

橋本さん：やだよー!でも引っ越ししたいって言っても、「じゃあ一人暮らしすれば？」って言われちゃいました。及川さんは何か悩みとかありますか？宿題が終わらないとか(笑)。

及川さん：(悲しそうに)あー、終わらないよ。配られたときはけっこうやる気あるんですけどね。名前を書いた後は…もうなくなってます。いちばん大変なのは自由研究。「自由」っていちばん困る。

橋本さん：「自由」って何よ!みたいなね。しかも小学校のときは社会科とかで良かったのに、中学校は理科だしね。じゃあ「上手に彼氏を作る方法」とかはどうですか？

及川さん：そういうテーマの方がやる気になるよね。

橋本さん：自由研究の話は置いておこうか(笑)。今日は初めての収録で、上から目線で申し訳ないなど感じることも多かったですが楽しくできました。

及川さん：最初は想像していたのと違ったので緊張もありましたが、私も久しぶりにこんなに話をするのができて楽しかったです。最近は話し相手がいなさすぎて猫と話していました(笑)。

橋本さん：猫(笑)！？

(おいかわまりな・はしもとゆい)

<まとめ：井上舞香>

本の紹介

地元の人しか知らない素敵な場所 (2014年6月)

ナショナルジオグラフィックトラベラー編集部 編

ナショナルジオグラフィック社・2200円



旅行に行くときに考えることがないだろうか。有名な観光地ももちろん良いけど、地元の人に人気のあるお店やレストランへ行ってみたい。もしくは地域に密着したイベントに参加してみたい、と。そう思った

らこの本をばらばらとめくってみて欲しい。

敢えて観光地から目を逸らしたこの本には、その土地だけで親しまれている風習や食べ物がカラフルな写真付きで紹介されている。どれも一般的なガイドブックではなかなか見つけることができない情報ばかりだ。ページ下部にある地元の人々の粋なコメントも旅のヒントになる。

伝統的で素朴なおやつが食べられるベルギーの屋台、手作りの可愛い雑貨を並べたメキシコの田舎市、美味しい牡蠣が食べられるイングランドの海の家。そんな場所にふらりと寄ったら地元の人たちの生活ぶりを肌で感じることができるだろう。美しい景色を眺めたいと言ったら観光客がいない穴場の場所を教えてくれるかもしれない。

そこに住む人たちとの交流も旅の醍醐味だ。普段の生活を垣間見ることのできる情報や思い出は、ただ観光地を巡るだけでは決して味わえない特別なものになるに違いない。(浅香友里)

一〇三歳になってわかったこと 人生は一人でも面白い (2015年4月)

篠田桃紅 著・幻冬舎・1080円



数え年で103歳になる美術家、篠田桃紅のエッセイ。出会ってきた人々についての回想、103歳という高齢になったことによる体や心境の変化、芸術についてなど、色々な話題で語られている。

この本に書かれているのは、普遍的な「老い論」では

ない。芸術家である著者が老いという押し寄せる変化によってそれまでの人生で研ぎ澄ませてきた感性や思いを含んだ著者その人をどのように変容させたかの記録であり、それは私にはかなり特殊で固有なものであると思えた。結婚をせず、初めて個展を開いたのは40歳を過ぎてからで、書道から始まりその表現が通常の文字の枠を超えて墨による抽象表現を切り拓くこととなった著者。生活も、決まった時間に寝起きするでもなく、じつに自由である。著者にとって、歳をとる事は、より自由になることなのだ。

「100歳を過ぎると、前例は少なく、お手本もありません。全部、自分で創造して生きていかなければなりません」「歳をとるということは、クリエイトするという事です」と、道を切り拓いていく生き方は不変である。年齢を重ねていく身体とともに生きる事への自己観察は、著者自身の驚きに満ちた興味と共にけっこうな迫力をもって伝わってきて、年を取るのが楽しみとはならずとも、90歳、100歳以降の世界に踏み入ってみたいというささやかな好奇心をそそる。(大森周子)

<アワプラジオ通信を毎月お送りします！>

毎月下旬ごろ発行しているアワプラジオ通信の購読を希望される方には1,000円(一年分の送料として)にて発送いたします。ネットの時代だからこそ“紙の手触り”は新鮮かと思えます。メールまたはハガキにお名前、お届け先、メールアドレス、アワプラジオ通信の購読希望であることがわかるようにご記入の上、お申し込みください。振込先を添えてすぐに発送いたします(申し込み先は4ページ最下段)。

千代田区社会福祉協議会(東京)の中にあるちよだボランティアセンター(3階エレベーター横)で、最新号をお持ち帰りいただけます。



法律のことを勉強したことがあればご存知の方も多いかと思いますが、結婚した未成年者は成年として扱われます。これを法律用語で成年擬制といいます。未成年の間は財産を得ることや処分するなどといった法律行為に法定代理人（親御さんなど）の許可が必要になります。

基本的に未成年者は単独で法律行為を行うには未熟で能力が備わっていないという観点から制限を受けるわけですが、結婚したのに例えば住まいの一つも自分たちの判断で借りたり買ったりすることができないのでは何かと不便などということから、

成年擬制は民法に定められています。これは離婚しても消滅しません。ちなみに選挙権や飲酒・喫煙などといったことはそれぞれ別の法律で制限されているので、結婚しても酒タバコはダメです。

日本では同性婚が制度として認められていませんから、同性同士の婚姻（法律婚）はありません。とはいえ「もしも同性婚が認められるなら法律婚をしたい」という未成年カップルがいたとしたらどうでしょうか。同性婚が制度としてあれば彼ら、彼女らにも当然、成年擬制は適用されることになるはずですが。しかしながら現状では、実質的には婚姻と同等の状況にあっても彼ら、彼女らは“20歳になるまで未成年のまま”です。

もちろん現在の婚姻制度が変わらない限り、相続や急病時の付き添いなど同性カップルにとっては不都合なことが多いのは成人してからも同じですが、そんなところからすでに差別があるということにもっと多くの人が思いを致してほしいと思うのです。

インターネットラジオ アワプラジオ

■東京ラブレター（毎週木曜日・21:00～21:30）

首都圏で活動する NPO や NGO、市民グループや個人の方を紹介する番組です。

●10月のオンエア【1日、8日、15日、22日、29日】

『本の街』神保町から新たな何かを編集（EDIT）する
コ・ワーキング&イベントラウンジ EDITORY
ディレクター 河原田保彦さんに聞く
ナビゲーター：あべこう一、高木祥衣

●番組を聴くには

【パソコンで聴く】「サイマルラジオ」にアクセス。
「近畿」→「FM わいわい」を選択。※Macの方はWindows
Media Player をダウンロードしてください。

【スマートフォンや iPad で聴く】サイマルラジオに対応したアプリ「TuneIn Radio」をダウンロード。
（検索窓で「FMYY」）。

あべこう一の音楽活動

■2015.10.11（日）板橋わいわい祭り（東京）

※詳細未定。

■下北沢スムルトロン（東京）で毎週火曜日 19:00～22:00 に開催のオープンマイクに時々出演中！

出演のある日のみ前日～当日のあべの Twitter、Facebook 等でお知らせします。

会場：下北沢スムルトロン

（小田急線・京王井の頭線『下北沢駅』北口・西口 5分）

チャージ：1オーダーお願いします。

●10分程度演奏します。出演時間は毎回異なります。

■あべこう一公式ブログ

<http://ameblo.jp/kohichi-abe/>

■あべこう一スペシャルサイト

<http://k-abe.jimdo.com/>

<すべてのお問い合わせ>

awapuradio@gmail.com / 090-6833-1491

編集後記

事情があつてこの間の安保法制をめぐる運動にほとんどかかわることができず、罪悪感を覚える今日この頃です。（阿部浩一）

発行：アワプラジオクリエイティブ
107-0052 東京都港区赤坂 3-21-5 三銀ビル 3F サポートコール内
TEL: 03-6856-0722 FAX: 03-6856-0723
<http://awapuradio.com/> awapuradio@gmail.com